

# 4年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度までの漢字を正しく読んだり書いたりすることができる児童が多い。新出漢字の学習も意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>説明的文章の読み取りは、できる児童が多い。</li> <li>文章を読んで、感想や疑問等をノートに書くことができる児童が多い。また、多くの児童が友達と意見を交流する活動を楽しんでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎文学的文章の読み取りでは、叙述を基に登場人物の気持ちを捉えたり気持ちの変化について想像したりすることが苦手な児童が多い。</li> <li>読書はしているが、物語文や小説に親しむ児童は少ない。</li> <li>要約する際の大事な部分について見出し、要約をしたり文章同士や段落相互の関係を明確にして文章を書いたりすることが苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語文の単元を学習する際に、登場人物や場面の構成をしっかりおさえる。</li> <li>◎場面ごとの出来事や様子をまとめ、物語全体を見通して、複数の叙述を基に行動や気持ちを捉えられるように指導する。</li> <li>文章の主語と述語を確認しながら大事な部分正しく読み取り、理解できるよう指導する。</li> <li>物語文に興味をもてるように、教科書「この本を読もう」に載っている本を紹介する。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の処理や飲料水の供給などの生活に身近な問題については、自分の生活に結び付けて考えることができる児童が多い。</li> <li>東京都の様子や地理的環境の特色、安定した飲料水の供給、廃棄物の処理等について新しく学ぶ学習活動に興味をもって取り組む児童が多い。</li> <li>社会的事象から自分で課題を発見し、学習に取り組もうとする意欲がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎資料を読み取り、そこから考えられる事象について考えることや表現することが苦手な児童がいる。</li> <li>社会的事象についての理解が、習熟されていない児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に結び付けて考えられるような資料提示を工夫する。</li> <li>日常生活の中から学習課題を見付け、意欲的に解決していけるような発問や活動を工夫する。</li> <li>◎表やグラフ、資料を丁寧に読み取り、そこから分かることを伝え合う活動を多く取り入れる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい学習問題に意欲的に取り組んでいこうとする児童が多い。</li> <li>基本的な計算を正しくできる児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正三角形や二等辺三角形の性質等の図形の理解が不十分である。</li> <li>数の相対的な大きさや数直線上に示された数や棒グラフの読み取りについて理解していない児童が一定数いる。</li> <li>◎問題文から□を使った式を作ることができない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の学習では、正三角形、二等辺三角形など、対象とする図形だけを扱うのではなく、それ以外の図形との違いに着目させることで性質の理解に繋げる。</li> <li>◎問題文の意味を正確に読み取り、何を□として扱うことや根拠をもって演算決定できるようにさせる。</li> </ul>

理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察に対して、興味・関心をもって取り組むことができる。</li> <li>・生活経験を基に実験結果の予想をすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験したことや道具の名前・理科用語などを知識として定着させること。</li> <li>◎実験や観察したことを正確に記録し、実験結果から分かったことを、根拠を基に考えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業前に前時の振り返りを行い、知識を定着させていく。</li> <li>・実験や観察において、問題解決の流れを意識したノート指導を行う。</li> <li>・観察や実験の際は、観察して分かったことや実験を通して分かったことを毎回書き込むことを徹底させる。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱や器楽の表現に意欲的に取り組む姿が見られる。</li> <li>・楽曲から、曲想と音楽の特徴や仕組みを関連付けて聴いたり、言語で伝えたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎歌唱や器楽では、自分なりに表現を工夫したり、どのように表現するのか思いや意図をもったりして、音楽表現につなげようとするのが難しい。</li> <li>・互いの楽器の音や副次的旋律を聴いて、拍の流れに乗って演奏すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や旋律の特徴をよく捉えるようにし、どのように表現したいのかを考える場面を設定する。</li> <li>・一人一人が表現しようとする姿を認めたり褒めたりして、自信をもてるようにする。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた雰囲気や意欲的に取り組める児童が多い。</li> <li>・新しく学ぶ画材や道具の使い方を、教師の話をよく聞いて実践することができる児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎既習事項からさらに創意工夫を加えたり、表現の幅を広げたりすること。</li> <li>・自分のアイデアや友達の良いアイデアを発表することが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の道具や材料の新しい使い方や技法を示したり、新しい道具や材料に触れさせたりし、様々な表現方法を体験させる。</li> <li>・タブレット端末を活用して、互いのアイデアを鑑賞する機会を設ける。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの領域にも意欲的に取り組む姿が見られる。また、技の定着や技の精度の向上のために、試行錯誤する姿勢が見られる。</li> <li>・仲間と一緒に、集団に関わることに楽しみを見出せるようになりみんなで協力することや、友達と対話しながら学習することについて意識していくことができるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎技能の習得が早い児童と、技能を修得するのに時間を要する児童など、運動技能の習得に差が見られ、何を意識すれば技能がうまく身に付けられるのかを考えながら練習することに課題がある児童がいる。</li> <li>・体力テストの「ソフトボール投げ」「反復横跳び」の数値が全国平均より低く、巧緻性、瞬発力、敏捷性に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで見合ったり話し合ったりして、技能を向上させるような練習方法を考える活動を積極的に取り入れていく。</li> <li>・ボールを投げる運動や鬼遊びなどの素早い動きが必要な運動を、取り入れていく。</li> </ul>